

第5回「羽ばたく女性研究者賞」授賞式 情報科学専門の黒木祐子さんら4名の功績称える

第5回「羽ばたく女性研究者賞(マリア・スクウォドフスカリキユリー賞)」授賞式が6月4日、都内の駐日ポーランド共和国大使

館において開催された。

同賞は、科学技術振興機構(JST)と駐日ポーランド共和国大使館が共同で2021年度に創設したもの。日本の女性研究者のより一層の活躍推進に貢献することを目的としており、国際的に活躍が期待される若手女性研究者を表彰している。

今回は最優秀賞に黒木祐子さん(イタリア インターザ・サンパオロAiriサーチセンター&Airiサーチャー)、奨励賞に小林天美さん(東北大学医学イノベーション研究学創生研究部講師(研究室主宰者、国際卓越研究員)、山口そのみさん(アメリカダナ・ファーマーがん研究所がん免疫学・ウイルス学部門HFSF博士研究員)、特別賞に森本真理子さん(アメリカノートルダム大学化学・生化学科アシスタントプロフェッサー)の4名が選ばれた。

授賞式は高円宮妃殿下ご臨席のもと開催。パヴェウ・ミレフスキ駐日ポーランド共和国特命全権大使、高円宮妃殿下、橋本和仁JST理事長らからそれぞれあいさつが述べられ、受賞者を称えた。その後、受賞者一人ひとりに対し、表彰状や賞金等が授与された。

式典の前には受賞者へのインタビュが行われた。最優秀賞を受賞した黒木さんは受賞が決まった瞬間を振り返り、「ご連絡をいただいたときは大変驚いたが、情報科学の理論の研究を評価していただいたように感じたこと、また今まで自分が迷いながら進んできた道も見ていただいたように感じて大変うれし」と語った。



受賞した(左から)小林さん、山口さん、黒木さん、森本さんとミレフスキ大使